



国立研究開発法人  
国立国際医療研究センター

NCGM

National Center for Global Health and Medicine

# 国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1  
国立国際医療研究センター国府台病院長 上村 直実  
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858



2016. 11月

第33号

## [ 国分寺 ・下総国分寺跡 ]

国分川と真間川を見下ろす高台に位置する741年に聖武天皇の詔勅により建立されたお寺です。

### 目次

◇新任医師の挨拶	2
◇第1回 市川・国府台地域医療フォーラムのご報告	2
◇第24回 市川医学会への参加	3～4
◇第23回 肝臓病教室の開催報告	4
◇地域医療連携病院のご紹介	5
◇自衛消防操法大会への参加	5
◇職場紹介（放射線科）	6
◇第70回 国立病院総合医学会（沖縄）	7～9
◇院内サービス部門のご案内（喫茶小林）	9
◇第24回肝臓病教室のご案内	10
◇クリスマスコンサートのお知らせ	10
◇栄養一口メモ	10
◇編集だより	11

## 新任医師の挨拶

本年10月に着任した医師を紹介します。  
どうぞよろしくお願いいたします。

### (耳鼻いんこう科医長 渡邊 荘)

耳鼻いんこう科の渡邊荘（わたなべそう）と申します。出身は台東区-上野動物園の裏ですが、国府台の隣-京成江戸川駅のすぐ近くに最近まで祖父母の家があり、幼い頃は週の半分をそこで過ごしました。よく祖父母や両親に連れられて江戸川の土手を散歩し、また里見公園にもよく連れて行ってもらいました。今回ご縁があって国府台病院に赴任することになり、幼い頃から馴染みのある地域で仕事ができることに感慨深さを覚えます。

私の専門は鼻科学で、前任地の昭和大学では鼻・副鼻腔外来やアレルギー外来を長年担当していました。慢性副鼻腔炎・鼻中隔彎曲症・アレルギー性鼻炎・肥厚性鼻炎に対する内視鏡下手術は数百例の執刀経験があります。また、アレルギー性鼻炎に対するアレルギー免疫療法や、昨年難病に指定された好酸球性副鼻腔炎に対するステロイドを中心とした薬物療法も数多く行ってきました。現在当院では鼻・咽頭を中心に手術を行うべく、近日中に開始できるよう体制を整えている最中です。またアレルギー免疫療法についても今後実施できるようにしていきたいと考えております。

鼻の病気が私の専門ではありますが、鼻に限らず耳やのどに関することでも、何かお困りのことがございましたらお気軽に外来にお越しいただきご相談ください。お悩みを解決できるよう、お手伝いさせていただきます。また近隣の医療機関の先生方におかれましては、耳鼻咽喉科としての精査・治療（手術含む）が必要と考えられる患者さんがいらっしゃいましたら、是非ともご紹介いただきますようお願いいたします。



## 第1回市川・国府台地域医療フォーラムのご報告

### 副院長 青柳 信嘉



平成28年10月8日（土）14時30分から、市川グランドホテルにおいて市川・国府台地域医療フォーラムが国府台病院主催のも

と開催されました。このフォーラムは東葛南部地域の病診・病病連携の推進を目的として今年から始めたもので、市川市医師会、市川市歯科医師会、近隣病院の方々42名と、国府台病院から56名のあわせて98名の方々にご出席いただき盛会となりました。

最初のセッション「消化器疾患の治療の最前線」では消化器科の矢田医師による消化器内視鏡の最新治療と外科の遠藤医師による腹腔鏡手術および3D解析を用いた画像診断法が紹介されました。次のセッションでは前立腺検診、認知症、PET-CTの話題が紹介され、いずれも興味深い発表となりました。

最後のセッションでは千葉県健康福祉部の医療整備課長の高岡志帆先生に「病診連携の意義～東葛南部における地域医療構想と医療・介護ケアシステム」のタイトルで基調講演をしていただきました。引き続き行われたパネルディスカッションでは市川市医師会の伊藤会長と国府台病院の柳井内科系統括診療部門長のお二人に座長をしていただき、

市川市医師会から武田先生、吉岡先生、千葉県医療整備課長の高岡先生、当院から早川精神系統括診療部門長、今村企画経営・医療連携・広報部門長、長島救急科医師の6人のパネリストと会場出席者の間で、地域医療連携の様々な問題について活発な議論が交わされ、地域医療が抱える問題点があらためて認識されました。

第2部の情報交換会では、医師会、歯科医師会、近隣病院の先生方と率直なお話しができ、賑やかなパーティとなりました。この情報交換会のなかでは今年市川市医師会に新たに加入させていただいた当院医師と当院地域連携室の紹介をさせていただき、市川市医師会から伊藤勝仁会長、池田良一先生、佐々木森雄先生、小坂弘道先生、歯科医師会から石井広志先生にご挨拶頂きました。普段は情報提供書のやりとりだけで、顔を存じ上げなかった先生方ともface to faceでお話しができ大変有意義な会合となりました。このような関係構築が地域医療連携の強化と、ひいては地域住民の皆様のシームレス、スムーズな診療に結びつくものと期待しております。



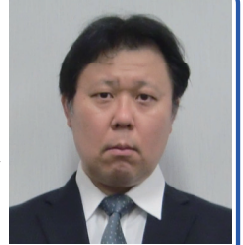
## 第24回市川医学会への参加

平成28年11月12日(土)第24回市川医学会が市川市医師会館にて開催されました。当院からは免疫疾患診療室医長 狩野、第一消化器内科医師 矢田、精神科医師 佐藤、外科医師 熊澤が講演を行いましたので参加報告を掲載させていただきます。

### 演 題 「不明熱の原因となる膠原病」 免疫疾患診療室医長 狩野 俊和

発熱が3週間以上続く場合は原因を突き止めて適切な治療をしないと解決しません。その中で、一通りの検査をしても病気を特定できない場合を原因不明熱と呼びます。感染症、腫瘍、膠原病は不明熱の3大原因ですが、膠原病の中で特に不明熱になりやすいのは、成人スティル病、リウマチ性多発筋痛症、血管炎です。成人スティル病は高熱、皮膚の発疹、関節痛などが起きる病気です。鉄の過不足を表す血清フェリチンが高くなることが特徴ですが、早期の段階では上がらないこともあり、この場合不明熱になります。リウマチ性多発筋痛症は中高年の肩や太ももの筋肉痛、全身の関節痛がおきる病気ですが、どういふわけか痛みを訴えないことがあります。そうする

と体のどこで炎症がおきているかわからないため不明熱になります。血管炎は大小さまざまな全身の血管に炎症が起きる病気ですが、進行すると血管が詰まってしまい、皮膚や神経、腎臓などに異常が生じます。血管が詰まってしまう前の血管炎は炎症の起こる場所がわからないため不明熱になります。共通しているのは熱の原因である炎症が体のどこで起きているかわかりにくいことなので、症状や血液検査、画像を組み合わせて見つけようと努力することになります。当院の不明熱外来ではそういった診療を行っています。



### 演 題 「食道癌と咽頭癌の重複癌に対して二期的にESDを施行した一例」 第一消化器内科医師 矢田 智之

内視鏡画質の向上により、以前は難しいとされていた食道表在癌の早期発見が可能となりました。また、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) というテクニックを用いることにより、大きな腫瘍も一括で綺麗に切除できるようになりました。ただし、治療後の潰瘍は治ってくる過程でひきつれてきますので、とくに大きな病変を治療した後は術後の狭窄対策が必須です。また、食道癌は他臓器癌の合併が多いことも知られており、当科でも食道癌患者の約10%に咽頭癌などの頭頸部癌の合併を認めています。発表の前半は当科における広範食道癌術後の狭窄

対策と治療成績について、後半は当科における食道癌患者の異時性多発癌や他臓器癌の合併率と内視鏡観察時の注意点についてお話ししました。フロアからの質問も多く、この領域への皆さんの関心の高さがうかがえました。全周性の広範食道癌や咽頭癌に対するESDについては当施設含めて県内では数施設しか行っておらず、今後も先進的な医療を安全かつ確実に行っていきたいと思います。



### 演 題 「認知症診断について」 精神科医師 佐藤 護

日本における認知症患者数は、2012年に460万人を突破しました。認知症は社会全体で対応すべき大きな課題ですが、世間の関心が高まる一方で、その概念は意見の一致を待たずに拡大しつつあり、不確かな情報が氾濫しています。そのような中で求められるのは、確かな知識に裏打ちされた、筋の通った医療です。医療の起点となる診断においては、特に重視されるべきと考えています。

認知症は、一般的なイメージよりも、解明されていないのが実情です。例えばほとんどの認知症は発症機序も

未解明であり、脳解剖無しに確定診断はできませんし、抗認知症薬も、あくまで特定の認知症の進行を緩徐にすることを期待するもので、根本的な治療法は今の所ありません。

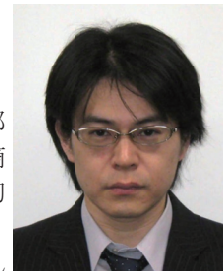
そのような現代医学の限界を認めた上で、早期の診察・検査により治療可能な認知症 (Treatable dementia) を発見することや、適切な臨床診断のもとで包括的な医療に繋ぐことが、とても重要です。



## 演 題 「消化器疾患に対する腹腔鏡下手術～2016～」 外科医師 熊澤 慶吾

鏡視下手術は1987年にフランスで最初に腹腔鏡下胆嚢摘出術として行われました。その後1990年より本邦でも東京大学医学部附属病院をはじめ複数の施設で導入され、その整容性と低侵襲性の長所のため日本でも対象術式が拡大され、広く普及してきています。2000年にはアメリカ合衆国でda Vinci Surgical System が承認されました。2009年には日本において単孔式腹腔鏡手術が導入されています。国立国際医療研究センター国府台病院の外科でも積極的に腹腔鏡下手術を導入しております。消化管領域では、幽門側胃切除術、幽門保存胃切除術、胃全摘術、十二指腸潰瘍穿孔大網充填術、腹腔鏡・内視鏡合同手術(Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery : LECS)、回盲部切除術、右半結腸切除術、S状結腸切除術、直腸高位前方切除術、直腸低位前方切除術、腹会陰式直腸切断術、全大腸切除+回腸囊肛門吻合術、直腸吊上げ固定術、虫垂切除術(単孔式含む)、イレウス解除術、閉鎖孔ヘルニア修復術、食道裂孔ヘルニア修復術

など。肝胆膵領域では、膵体尾部脾合併切除術、脾摘出術、胆嚢摘出術(単孔式含む)、総胆管切開切石術(経総胆管および経胆嚢管)、肝嚢胞天蓋切除術などがあげられます。術中ビデオ上映では①胃穹窿部のGISTに対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery : LECS)②家族性大腸腺腫症に対する全大腸切除+回腸囊肛門吻合術③胆嚢ポリープに対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘術を供覧いたしました。当院における腹腔鏡手術症例数も年々増加してきています。今後、機械の進歩に伴い、腹腔鏡手術やロボット手術(da Vinci Surgical System など)はさらに多様化していくことが予想されます。当科においても、適応疾患を拡大し、みなさまの幅広いニーズにお答えしていきたいと考えております。



## 第23回 肝臓病教室の開催報告

平成28年9月17日(土)に第23回肝臓病教室を開催しましたところ、多くの方にご参加いただきました。

まず、大座先生より「肝炎治療と医療費助成制度～最新の治療と医療費助成の受け方～」

の講演がありました。最近では、テレビのコマーシャルでも伝えられています。C型肝炎は12週間の治療で治る時代となりましたが、本講演では、C型肝炎治療の歴史から治療成績を丁寧に説明いただきました。また、

現在のC型肝炎の治療には、1錠 6万円という高価な薬剤が使われます。総額 600万円ほどかかるのですが、わが国には「助成制度」があり、国がそのほとんどを支払ってくれます。その実際の申請方法などもご説明いただきましたので、治療費のをご心配されずに治療を受けていただけるものと思います。

次に、正木肝疾患医療情報室長より、「B型肝炎の最新治療法～B型肝炎の根治は可能か?～」の講演がありました。

C型肝炎と異なり、B型肝炎の根治療法は確立されていません。その理由としてB型肝炎ウイルスは、DNAウイルスだからです。皆さんよく御存じのDNAウイルスに水痘(みずぼうそう)がありますが、それは成人になってから帯状疱疹を起こすことで知られています。つまり、小児期



演者の大座



演者の正木

## 肝炎・免疫研究センター 肝疾患先端治療室長 村田 一素

に感染して治ったようにみえますが、実は体のなかに潜んでいるのです。B型肝炎も同じように感染した後は身体から完全に排除することは難しいのです。本講演では、その仕組みおよび最近の薬剤開発などについて説明していただきました。わが国ではB型肝炎創薬(新しい薬を作る)研究が盛んに行われていますので将来的には完全に治せる薬ができると思います。ただ、最近の治療法の改善によってウイルスの増殖を抑え、肝炎を鎮静化することは可能というお話もありました。

次回、第24回肝臓病教室は平成28年12月10日(土)に今回と同じ肝炎・免疫研究センター研修室にて行います。講演内容は「C型肝炎ウイルス治療後における食事・栄養療法の進め方」、「C型肝炎治療の現状と未来～全員治癒に向けて～」です。乞うご期待ください。

なお、今回同様、次回も肝臓病教室に参加される方限定で、受付時に院内食事処「あじげん」の10%お食事割引券をお渡しいたします。少し早めに来院して、院内でゆっくりランチを摂られてから講演をお聞きください。

今後も皆様に役立ち、かつ病気に対する不安を解消させるような肝臓病教室を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 地域医療連携病院のご紹介

当院は平成26年3月、JR北松戸駅西口に開業致しました。院長の服部は、高齢者医療に特化した医療機関での12年間の診療、並びに市中病院での外科・麻酔科（標榜医）の経験を元に、一般内科、腰痛などへのペインクリニックなどを中心とした、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅への訪問診療を主に行っております。

高齢者の増加に伴う医療費の増大に対して、療養型・介護型病床の削減と民間介護施設の増設が進む一方、現状では、高齢者ならではの医療に十分な経験を持った医師の診療・施設運営への意見を受ける事の出来る施設は未だ少数です。そうした中、当院が高齢者医療を中心に地域医療の質的向上に僅かでも貢献出来るよう、尽力する所存でおります。

当院は開院からまだ2年少々ですが、国立国際医療研究センター国府台病院へは、多くの施設入居の方々を対診紹介させていただいており、また同院諸先生からは、その都度適切なアドバイスやご指導を賜っております。これらを日常の診療にフィードバックさせるべく努めていることをご報告すると共に、この場を借りまして、あらためて感謝申し上げます。

## 自衛消防操法大会への参加

去る10月6日（木）市川市北消防署・大野消防訓練所にて、平成28年度事業所自衛消防操法大会が開催されました。本大会は、火災等の災害発生を行う119番通報及び屋内消火設備の操作技術の習得を目的とします。東日本大震災や熊本地震など自然災害も多くなっている近年、迅速かつ確に自衛消防体制を整える意味は大きく、特に体が不自由な患者さんが多い病院職員としては火災時の適切な初動対応は非常に重要になります。

当院からは指揮官として大塚主任理学療法士、1番員として筆者、2番員として辻井薬剤師が出場する事になり、仕事の合間に訓練を重ねました。訓練では現役消防士の指導の下、初動対応から消火まで一連の流れを覚える事から始まりました。



最初に苦労したのは声出し。災害時には「〇階で火災発生！」など大きな声で相手に伝えなければならないのですが、普段大きな声を出す機会が無い三人ですので「声が小さい！」と度々指導を受けました。災害時に大切な事は「状況を正確に伝える事」。そのため声出しは前

最初に苦労したのは声出し。災害時には「〇階で火災発生！」など大きな声で相手に伝えなければならないのですが、普段大きな声を出す機会が無い三人ですので「声が小さい！」と度々指導を受けました。災害時に大切な事は「状況を正確に伝える事」。そのため声出しは前

## 医療法人社団洪庵会 千葉いぐさクリニック



住所：松戸市上本郷867-5 サポ-レ北松戸301

電話：047-367-5676

診療科：内科・皮膚科・麻酔科

診療時間：10：00～18：00  
日曜・祝日 休診

交通：JR北松戸駅より徒歩1分

院長：服部 佳広

## 事務部 会計係 齊藤 慧

提条件なのです。三人とも学生時代の部活以来（？）の大きな声で毎回の訓練に励みました。

そして迎えた大会当日。秋晴れの下、市川市長の挨拶で大会が始まりました。

順位は各チームの操作技術、タイム、隊員の士気等により総合的に評価され決定します。自分達の出番を待っている間、他のチームを見学していましたが、どのチームも気合いが入っています。私達の番となり、大塚主任の「主音響停止！！」という今までで一番大きな声と共にスタートしました。いつもと違い多くの人に見られているためとても緊張しましたが、大きなミスもなく訓練の成果を発揮できたと思います。残念ながら結果として上位入賞とはなりませんが、チームが一つになり達成感と充実感を感じる事ができました。今回の経験を活かし、今後は職員として日々の防災意識を高め、万一の災害時に備えたいと思います。



## 職 場 紹 介 ～今回は、放射線科を紹介します～

診療放射線技師長 大沼 裕

放射線科は、放射線診断専門医、核医学専門医、放射線治療専門医それぞれ1名とレジデント1名の計4名の放射線科医と診療放射線技師14名（うち、女性技師3名）、受付職員3名の体制で日々診療を行っています。

平成26年よりPET/CT装置が新規稼働し、呼吸同期放射線治療や定位放射線治療、画像誘導下放射線治療といった高精度放射線治療システムも再稼働しました。

また、一般診療科の機能充実に合わせて、疼痛緩和治療（メタストロン治療）および骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌に対する治療薬のアルファ線放出医薬品「ゾーフィゴ」での内用療法も行っております。更に、甲状腺治療の内用療法の準備も進めております。

下記の装置一覧のように、多くの疾患に対応できる体制が整っています。安全・安心で最先端の医療提供を心がけています。



### 医療機器一覧

撮影室名称	メーカー/装置名	種類	
第1撮影室	シーメンス・ジャパン	MAMMOMAT 3000 Nova	乳房撮影
	ヨシダ	OP-100	パノラマ撮影
第2撮影室	島津製作所/FUJI	RADspeed Pro	胸部・腹部、骨撮影
第3撮影室			
第5撮影室	日立製作所	VersiFlex APLA	エックス線TV装置
第7撮影室	東芝メディカルシステムズ	Aquilion PRIME TSX-303A	CT装置
第8撮影室	HOLOGIC	QDR-Discovery W型	骨密度検査
第9撮影室	シーメンス・ジャパン	Artis zee BA ( POLYDOROS A100 plus )	血管造影検査
ポータブル保管室	島津製作所	Mobile Art Evolution	ポータブル撮影
歯科外来	モリタ製作所	V080 maxiX	口内撮影
MR撮影室	シーメンス・ジャパン	MAGNETOM Aera	MRI検査
PET/CT検査室	シーメンス・ジャパン	BIOGRAPH mCT Flow	PET/CT検査
シンチ検査室	シーメンス・ジャパン	Symbia E Dual Head System	ガンマカメラ
リニアック室	パリアンメディカルシステムズ	CLINAC 21EX(OBI)	リニアック
	ブレインラボ	Exac Trac	患者位置決め・照合
治療計画室	シーメンス・ジャパン	SOMATOM Emotion16	治療計画CT装置
手術室	島津製作所	Mobile Art Evolution	ポータブル撮影
	島津製作所	WHA-200	C-アーム

## 放 射 線 科 書 籍 紹 介

身近な人が  
**がんに**  
なったときに  
役立つ知識 **76**

ネット情報をうのみにしては  
キケンです!

国立国際医療研究センター 内野三菜子  
現役の国立病院・放射線科医師が  
やさしく教える「がん」の入門書!

病院選び、手術、抗がん剤、放射線治療、治療費、がん保険、  
食事、生活、仕事との両立、そして緩和ケアまで……

すべてQ&Aでお答えします!

ダイヤモンド社

当院放射線治療専門医の内野三菜子が、放射線治療の専門医の観点から、病院選び、手術、抗がん剤、放射線治療、治療費、がん保険、食事、生活、仕事との両立、及び緩和ケア等、主治医に直接聞けないがんで知りたい事を本としてまとめましたので、ご紹介致します。

「身近な人ががんになったときに役立つ知識76」

放射線治療室医師 内野 三菜子 (著)

ダイヤモンド社より¥1,620

### 著者からの一言

「がん患者さん達が安心して治療に専念できるよう、がんの基本的な知識とがん治療に必要なお金周りのことについてまとめました。是非お手にとってご覧いただき、安心してがん治療を受けられることを願っています。」

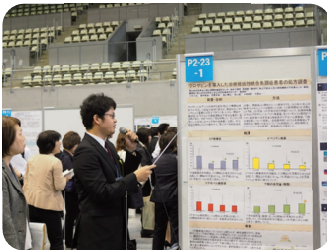
## 第70回国立病院総合医学会(沖縄)



平成28年11月11日(金)・12日(土)、第70回国立病院総合医学会(沖縄)が開催されました。国立病院機構、国立高度専門医療研究センター、ハンセン病療養所の職員など約6千名が参加しています。

今回のテーマは「医療構造の変化と国立病院機構に問われる役割 ～命(ぬち)ぐすい、温かい医療を広げよう～」でした。当院職員も多数参加しましたので、参加報告を掲載させていただきます。

### ポスターセッション：クロザピンを導入した治療抵抗性統合失調症患者の処方調査 薬剤師 今井 良



クロザピン(クロザリル)の重大な副作用として無顆粒球症や心筋炎、心筋症は周知であり、厳密なモニタリングにより重篤化は防止できています。しかし、便

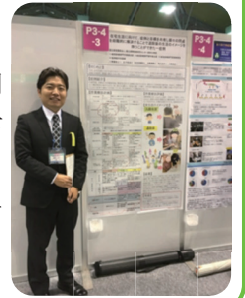
秘や麻痺性イレウスなどの胃腸運動低下症状はあまり注目されず、重症に至る例があり、当院では死亡例を経験しました。そこでクロザリルを導入した症例における下剤の使用量に注目して処方調査を実施し、その結果について発表を行いました。

### ポスターセッション：在宅生活に向けて、症例と目標を共有し個々の問題を段階的に解決することで退院後の生活のイメージを持つことができた一症例 作業療法士 齊藤 智之

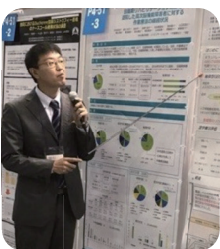
「在宅生活に向けて、症例と目標を共有し個々の問題を段階的に解決することで退院後の生活のイメージを持つことができた一症例」について発表いたしました。今回の発表では生活行為向上マネジメントというツールを通じて具体的に家族や地域との関わり方を見直し取り組みました。

会場では他院の作業療法士や他部門の方々と意見交換ができとても参考になりました。

今後も研究に励んでいき、臨床に還元していきたいと思います。



### ポスターセッション：軸索型ギランバレー症候群に対するリハビリテーションの経験 理学療法士 吾妻 導人



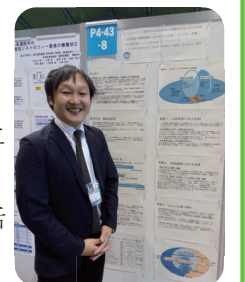
今回、回復が遅延する患者様に対して行った急性期リハビリテーションについて学会発表させていただきました。発表を通して、回復期病院に2次的な合併症を呈することなく

送り届けることの重要性を再認識出来ました。また学会参加により国立病院内での様々な取り組みを知り、有意義な時間を過ごせました。この経験を今後の臨床に繋げていきたいと思っています。

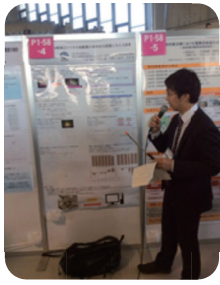
### ポスターセッション：ソーシャルワーク部門における育児休業代替職員採用における試み —人材育成や地域連携における効果についての一考察— 医療社会事業専門員 山本 啓太

育児代替職員は任期付き採用のため、採用がなかなか決まらないということがあります。今回、地域福祉の経験を有するソーシャルワーカーを育児代替職員として採用した取り組みを報告しました。人員確保だけでなく、病院と地域のソーシャルワーク支援の特徴を

再認識する研修的な機会ともなり、その後の病院と地域の連携、協働にも繋がっています。この経験と学び、地域との繋がりを今後の支援にも活かしていきたいと考えています。



## ポスターセッション：6軸補正カウチの移動量が患者投与線量に与える影響 診療放射線技師 昆 貢広



高精度放射線治療において6軸補正カウチ(治療用寝台)という高い精度で位置合わせのできるカウチは必要不可欠となっています。2014年に発表されたAAPM TG-176では、カウチによるX線吸収の影響で目的とする投与

線量の低下や皮膚への線量増加がトピックスとなっています。今回、発表した研究は6軸補正カウチに関するものであり、今後のより良い放射線治療の提供のために本研究が役に立てば良いと思っています。

## ポスターセッション：精神科有床総合病院における一般科ソーシャルワークに関する一考察 医療社会事業専門職 薬師寺 あかり

ソーシャルワーカーは、病気にまつわる様々な問題や悩みごとなどについて患者さんと共に考える社会福祉の専門職です。当院には、社会福祉士・精神保健福祉士の両方をもつソーシャルワーカーが7名おります。

今回、当院一般科病棟でのソーシャルワークについて振り返りました。介入した224名中122名(54%)が精神疾患を合併しており、また支援内容も多岐にわたっていました。

学会当日は「ソーシャルワーク3」のブースでベストポスター賞を受賞し、驚きと喜びで胸がいっぱいでした！これからも患者さんが心身共に快復への道を歩まれ、より良い生活が開始され継続できますように、支援していきたいと思えます。



## 口演：がん専門医の視点から見た国立病院機構におけるがん診療の継続性保持 ポスターセッション：精神疾患合併例の放射線治療 放射線治療室医師 内野 三菜子

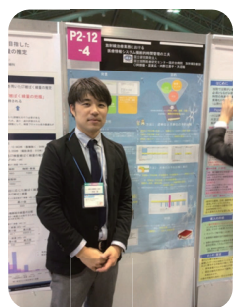


東京医療センターでの研修医から始まり、非常勤で幾つかの国立病院機構の病院群にお世話になり、今ここ国府台の常勤で放射線治療医として働く私にとって、今回の沖縄での国病学会は自分のキャリアの過去と現在を振り返るものとなりました。口演ではがん診療にあたる専門医として、同僚からの聞き取り調査をもとに、幅広い国策医療を展開する国立病院

機構におけるがん専門医のあり方を考察し、これまでのキャリアを未来にどう反映するかについてまとめる機会となりました。ポスター発表では、国府台病院の精神科診療のバックグラウンドに照らし合わせた放射線治療のあり方をレビューすることで、今現在のキャリアについて評価することができたと自負しております。

本日に至るまで複数の施設にまたがり指導を得た先輩医師、放射線技師の皆さんとの交流を深めることもでき、大変有意義な学会参加となりました。引き続き研鑽に励みたいと思えます。

## ポスターセッション：放射線治療業務における医療情報システム横断的時間管理の工夫 主任診療放射線技師 阿部 優



放射線治療業務には“診察”、“治療計画・治療”そして“装置管理”と大きく3つに分かれる。これら3つは、診察はHIS:Hospital Information Systemによって管理されています。治療計画・治療はRIS:Radiology Informatin Systemによって管理されています。高精度放射線治療を行なう上で放射線治療装置の精度管理は必要不可欠です。この装置管理は業者との紙面や口頭等、また私達診療放射線技師が精度管理を行なっており、個々

で管理されていました。これらの業務管理を横断的に一元化し業務効率向上を期待するための取り組みについて、第70回国立病院総合医学会ポスター発表の部、医療情報システム3のセッションで発表をしてきました。このセッションは全国国立病院療養所、国立高度専門医療研究センターから複数の職種により構成されるセッションで、様々な視点からのディスカッションができました。本発表を通じて得た貴重な意見や様々な考え方やアイデアをもとに患者さんが安心して安全に放射線治療を受けられる放射線治療室にしていきたいと思えます。



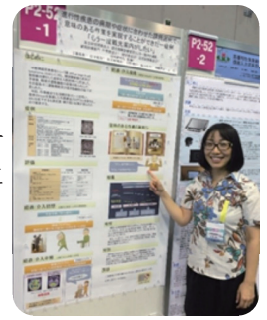
**ポスターセッション：進行性疾患の病期や症状に合わせた課題選択で意味のある作業を実現することができた一症例「もう一度観光案内がしたい」**

作業療法士 工藤 美恵

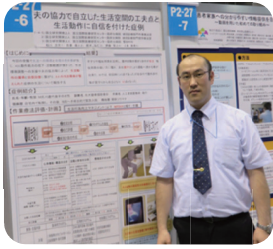
今回、生活行為向上マネジメントの生活聞き取りシートを用い、患者様と目標を共有し実現するための取り組みについて発表しました。

実際の発表では活発な意見交換を体験し、多くの刺激を受けることができました。また、学会に参加したことで、他院での患者様のQOL向上に向けた実践について知

ることができました。学んだことを日々の臨床に活かし、今後もテーマを持ち研究・発表など積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



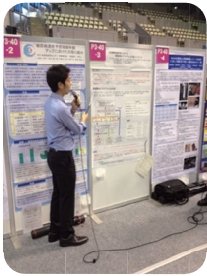
**ポスターセッション：夫の協力で自立した生活空間の工夫点と生活動作に自信を付けた症例**  
作業療法士 稲川 浩充



今回のテーマは、生活行為向上マネジメントを用いて、地域包括ケアシステムに向けた取り組みについて発表しました。周囲の病院毎の取り組みを通して、今後の地域へ向けた活動や病院

との連携方法等、様々な工夫点がありました。今後の医療保険制度等の改正に向けた準備を整え、職種毎の必要性と専門性の高い医療が展開できる事等が課題として見つかりました。今、出来る事を整理しながら、これからも前に進んでいきたいと思ひます。

**ポスターセッション：2型糖尿病患者に対する運動療法プログラムの導入について**  
理学療法士 庄子 拓良



国立病院総合医学会において『2型糖尿病患者に対する運動療法プログラムの導入について』ポスター発表を行いました。リスク管理・運動量の定量化を目的とした運動療法プログラムの内容と、実施前後の身体機能の変化に

ついて報告しました。他病院の方々から貴重な意見を頂くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。今後も積極的に参加し、臨床・研究に励んでいきたいと思ひます。

**院内サービス部門のご案内**  
～今回は、喫茶小林を紹介します～

『手づくりの店 喫茶小林』

国府台病院で15年前より喫茶を提供しています。トーストセットは切りたてのしっとりとしたパンを丁寧に焼き上げており、手づくりマヨネーズで和えたポテトサラダとともに好評をいただいています。ミックスサンドもそれぞれの素材が生きるよう手づくりマヨネーズで和えて柔らかいパンで丁寧にサンドしている自慢の一品です。お客様と和やかに会話できる店内を心がけており、昔から多くの常連の方々に親しまれています。これからも皆さまに愛されるお店であるよう頑張っていきます。

**営業時間**

平日 8:00～18:00 (LO.17:40)  
土曜日・祝日 11:00～17:00 (LO.16:40)  
日曜日 定休日

喫茶小林 岡本 務

**ミックスサンド**

素材を生かすために手づくりのマヨネーズで和えています。



**トーストセット**

切りたてのパンによるトーストと手づくりマヨネーズで和えたポテトサラダが好評です。



## 第24回 肝臓病教室のご案内



日時：平成28年12月10日(土)  
14:00~16:00  
場所：国立国際医療研究センター国府台病院  
肝炎・免疫研究センター研修室A  
お問い合わせ先  
肝炎・免疫研究センター 村田 一素  
TEL: 047-375-4738

- ※ 予約は不要で、参加費は無料です。
- ※ 終了後に個別相談（肝炎、肝硬変、肝臓癌を中心に）も行います。
- ※ ご相談のある方は血液検査・CTなどの資料をお持ちいただくと、状態に応じた詳しい説明をお受けになれます。

## クリスマスコンサートのお知らせ

クリスマスコンサート実行委員会

**国府台病院病院  
クリスマスコンサートのお知らせ**

アンサンブル国府台団長 田村奈穂

毎年恒例となっております、クリスマスコンサートの季節がやってまいりました！  
国府台病院職員で構成されたメンバーでお送りいたします皆様お誘い合わせの上、楽しい空間にいらしてください♪  
メンバー一同心よりお待ちしております☆

日時：平成28年12月17日(土)  
開演：14:00~  
場所：正面玄関エントランス  
参加費無料



## 栄養一口メモ

副栄養管理室長 阿部 裕二

### ☆☆ 今回のテーマ りんご ☆☆

前号にて栄養管理室で発行している簡単レシピについて紹介させていただきました。その後、お手に取っていただける方が増えて栄養管理室一同たいへん嬉しく感じております。「無駄なし・手間なし・簡単レシピ」と題して、毎月、旬の食材を取り上げて、ご自宅でも簡単にできるメニューを毎月紹介しています。ぜひ、お読みいただけたら幸いです。配布している場所は正面玄関横、栄養指導室2か所、栄養管理室前となります。



簡単レシピでは旬の食材を使って作るレシピをご紹介します。ここでは「りんご」の栄養についてご紹介します。

ふじ、王林、紅玉、千秋、世界一、茜、紅の夢などなど、多くの種類のりんごが出荷されています。皆さんはどの種類のりんごが好みですか。蜜の入った甘いりんごが好まれる方も多いと思います。りんごを切ったときに中心部に黄色く透明がかった部分が蜜と呼ばれますが、これはソルビトールという成分だといわれています。葉で作られたソルビトールは果実に運ばれ果糖やショ糖に変化します。十分に熟して糖分に変化できなくなったソルビトールが中心部で蜜として現れます。そのため、蜜の入ったりんごは甘く完熟した証しとなります。しかし、蜜の部分だけを食べてもそんなに甘く感じません。実はソルビトールはショ糖や果糖に比べて甘みが少ないためです。りんご半分とバナナ1本はだいたい同じエネルギー（約80kcal）です。蜜の入っているりんごを美味しいうちにと食べ過ぎにはご注意ください。

# 編集だより

編集部

## “国分寺・下総国分寺跡をご紹介します”



国分川と真間川を見下ろす高台には『国分寺・下総国分寺跡』があります。

天平13年（741年）、聖武天皇の詔勅「国分寺建立の詔」により「国分寺」及び「国分尼寺」が一国一寺として全国各地に建立され、千葉県には上総・下総・安房の3国に建てられました。

下総国分寺跡は現在の国分寺とほぼ同じ場所にあり、創建当時は奈良県の法隆寺と同じ伽藍配置で、金堂・塔・講堂が建てられていました。

下総国分寺は戦国時代の2度の国府台合戦や数度の火災によって、創建当時の建物は現存しておりませんが、1300年の長い歴史を通して、幾度も再建され創建当時の面影を残しています。現在の本堂や南大門などは昭和にはいって再建されたものです。



南大門（仁王門）



迫力の阿形像



境内を彩る紅葉



交通  
・京成国府台駅から 徒歩約27分

# 外 来 診 療 担 当 医 師 一 覧 表

国立国際医療研究センター  
国府台病院

TEL 047-372-3501 (代表)

平成 28 年 12 月 1 日 現在

診療科・曜日	月	火	水	木	金		
内科系	総合内科	酒匂 赤人(総合) 増井 良則(総合)	津田 尚法(総合) 足立 洋希(総合)	張替 忠直(総合) 藁谷 陽子(総合)	箱島 真理子(総合) 田中 真(総合)【第3】 濱崎 秀崇(総合)	川口 明子(総合) 酒匂 赤人(総合) 佐藤 輝彦(呼吸器)	
	呼吸器内科	杉山 温人(呼吸器)【第1/2】 飯倉 元保(呼吸器)【第3】 竹田 雄一郎(呼吸器)【第4】	関根 理恵子(血液疾患) 【第4】午前のみ	佐藤 輝彦(呼吸器)			
	血液内科		多田 真奈美(腎臓疾患) 【第1/3】午前のみ				
	感染症内科	菊池 嘉(感染症)【第2/4】 矢崎 博久(感染症)【第2/4】			矢崎 博久(感染症)午前のみ 川口 明子(糖尿・内分泌)午前【予約制】		
	腎臓内科		三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	足立 洋希(糖尿・内分泌)午後 【予約制】	足立 洋希(糖尿・内分泌) 【予約制】	
	糖尿・内分泌代謝内科	森山 純江(糖尿・内分泌) 【予約制】	箱島 真理子(午前)(糖尿・内分泌) 【予約制】	濱崎 秀崇(糖尿・内分泌) 【予約制】	柳内 秀穂(糖尿・内分泌) 【予約制】	三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	
	リウマチ・膠原病科	柳内 秀穂(糖尿・内分泌) 猪熊 茂子(リウマチ・膠原病)	狩野 俊和(リウマチ・膠原病) 菱沼 留加(リウマチ・膠原病) フットケア外来(糖尿・内分泌)	増井 良則(リウマチ・膠原病)	菱沼 留加(リウマチ・膠原病)【第1/3/5】 吉川 玲歌(リウマチ・膠原病)【第2/4】 フットケア外来(糖尿・内分泌)	狩野 俊和(リウマチ・膠原病) 津田 尚法(リウマチ・膠原病) フットケア外来(糖尿・内分泌)	
	消化器内科	上村 直実(消化器) 赤澤 直樹(消化器) 久野木 康仁(消化器)	小坂塚 仁彦(消化器) 酒匂 赤人(消化器) 板倉 由幸(消化器)	上村 直実(消化器) 伊藤 光一(消化器)	矢田 智之(消化器) 池上 友梨佳(消化器) 岩崎 秀治(消化器)	小坂塚 仁彦(消化器) 鈴木 桂悟(消化器) 福永 高之(消化器)	
	肝臓内科	正木 尚彦(肝臓内科) 青木 孝彦(肝臓内科)	清上 雅史(肝臓内科) 村田 一素(肝臓内科)	大座 紀子(肝臓内科) 考藤 達哉(肝臓内科)	今村 雅俊(肝臓内科) 村田 一素(肝臓内科)	鈴木 桂悟(消化器) 今村 雅俊(肝臓内科) 是永 匡紹(肝臓内科)	
	循環器内科	一瀬 哲夫	田中 由利子・賀嶋 俊隆	黄 文憲	岡崎 修【第1/2/3】・原 久男【第4】	小林 貴	
心療内科	初診	辰島 啓太(午前)(予約制)		河合 啓介・戸田 健太 (予約制)	田村 奈穂(終日)(予約制)		
	再診	戸田 健太(午後)・石川 俊男(午前) 富田 吉歌【第2/4 午後】・河合 啓介	辰島 啓太・田村 奈穂 河合 啓介	小西 恵・知場 奈津子 町澤 理子	辰島 啓太	戸田 健太(午前)・田村 奈穂	
脳神経内科	再診	12/6> 竹内 壮介 12/9> 新井 憲俊 12/13> 肥田 あゆみ 12/20> 竹内 壮介 12/27> 肥田 あゆみ					
	初診						
外科系	外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹 青柳 信嘉(エコー) 青柳 信嘉(内視鏡)【第1・3】	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧 遠藤 大昌(AMエコー) 熊澤 慶吾(AMエコー) 稲垣 冬樹(AMエコー) 岡田 憲樹(AMエコー) 小野 英哉斗(AMエコー) 坂元 慧(AMエコー)	遠藤 大昌	
	消化器外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧 青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	肝臓・胆嚢・膵臓外科						
	乳腺外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	内視鏡外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	ヘルニア外来	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	ストーマ外来(完全予約制)						
	脳神経外科	大野 博康	大野 博康	休診	大野 博康	大野 博康	
	整形外科	初診 再診	鈴木 弘仁 新井 元	手術日	佐藤 章子【第1/3/5】 鈴木 弘仁【第2/4】	新井 元 新井 元(再診予約のみ)	新井 元 鈴木 弘仁
	皮膚科	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	
泌尿器科	浅野 桐子 交代制【第4】	吉田 賢	長濱 克志 足立 康久	長濱 克志 吉田 賢(10:30~)	足立 康久 吉田 賢(10:30~)		
婦人科	山澤 功二	休診	張 士青【第1】・山澤 功二【第2】 高本 真勢【第3】・山澤 功二【第4】	是澤 光彦	休診		
眼科	初診 再診	小池 優佳 山崎 廣子	小池 優佳 柴 玉珠・大原 心つ	山崎 廣子 山崎 廣子(午後)	藤本 尚也 山崎 廣子	芳田 奈津代 柴 玉珠	
養護外来							
耳鼻咽喉科	須田 稔士(午前) 原 治(午後・予約のみ)	渡邊 荘(午前) 原 治(午後・予約のみ)	原 治【第1/3/5】(午後・予約のみ) 渡邊 荘【第2/4】(午後・予約のみ)	渡邊 荘(午前) 原 治(午後・予約のみ)	多田 剛志(午前) 原 治【第1/3/5】(午後・予約のみ) 渡邊 荘【第2/4】(午後・予約のみ)		
麻酔科・ペインクリニック	休診	東 俊晴(予約制・再診のみ)	東 俊晴	休診	東 俊晴		
心臓血管外科	賀嶋 俊隆	休診	秋田 作夢	休診	秋田 作夢		
ペースメーカー外来	PM賀嶋 俊隆【第3・予約制】	休診	休診	休診	休診		
救急科	賀嶋 俊隆・長島 彩子 山崎 大輔	賀嶋 俊隆・長島 彩子 山崎 大輔	賀嶋 俊隆・長島 彩子 山崎 大輔	賀嶋 俊隆・長島 彩子 山崎 大輔	賀嶋 俊隆・長島 彩子 山崎 大輔		
精神科	初診	第1・3・5 曜日 第2・4 曜日	中野 知恵子 榎本 哲郎	水田 康彦 近藤 忠之	佐藤 護 中島 常夫	吉見 太郎 柳澤 雄太	
	再診	① 診	榎本 哲郎 草西 俊	榎本 哲郎	吉見 太郎	吉見 太郎	草西 俊
		② 診	伊藤 寿彦		中野 知恵子		
		③ 診	早川 達郎	吉見 太郎	早川 達郎	柳澤 雄太	中野 知恵子
		④ 診	塚田 和美	中島 常夫	水田 康彦	水田 康彦	伊藤 寿彦
		⑤ 診			柳澤 雄太	榎本 哲郎	中島 常夫
		⑥ 診					塚田 和美
⑦ 診	柳澤 雄太	佐藤 護		佐藤 護	柳澤 雄太		
睡眠障害専門外来 (完全予約制)				芦澤 裕子(2診)	早川 達郎(6診)		
児童精神科	初診	毎週月曜日 対象者 中学生(15歳)以下 電話予約(水曜日 10:00~12:00)が必要					
	(予約制)再診	黒江 美穂子・宇佐美 政英 牛島 洋景・稲崎 久美	黒江 美穂子・牛島 洋景 岩垂 喜貴・稲崎 久美	宇佐美 政英・牛島 洋景 岩垂 喜貴・稲崎 久美	黒江 美穂子・宇佐美 政英 岩垂 喜貴・稲崎 久美	黒江 美穂子・宇佐美 政英 牛島 洋景・岩垂 喜貴	
放射線科	放射線診断	待鳥 詔洋	待鳥 詔洋	待鳥 詔洋	待鳥 詔洋	待鳥 詔洋	
	放射線治療	宮田 陽子	宮田 陽子(午前のみ)	宮田 陽子	宮田 陽子	宮田 陽子	
歯科	初診(予約制)	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳	
	再診(予約制)	金丸 拓矢	金丸 拓矢	金丸 拓矢	金丸 拓矢	友田 衣早佳	

(注) 1. 外科及び整形外科の担当医は、手術などの都合で変更(交替)になる場合があります。

- \* 初診受付時間：8時00分～11時00分**

  - ※ 1 感染症内科を受診される方は事前に感染症内科医へご相談ください。(平日のみ。水曜日は除く。)
  - ※ 2 フットケア外来は完全予約制です。糖尿・内分泌科外来にて受け付けます。
  - ※ 3 心療内科：初診は完全予約制 電話受付時間は平日16～17時まで、又は平日心療内科外来窓口にて受け付けます。(心療内科外来に半年以上来院していない場合は、再診ではなく初診となります。)
  - ※ 4 脳神経内科：初診・再診ともに完全予約制
  - ※ 5 外科：スクリーニング外来は完全予約制で外科外来窓口にて受け付けます。(第2.4.5 木曜日・第1.3金曜日)
  - ※ 6 精神科：初診は1日 4名迄(先着順) + 予約枠 2名(電話予約受付時間は月・火・木・金(水のぞく)の14時～16時迄、又は平日精神科外来窓口にて受け付けます。)
  - ※ 7 睡眠障害専門外来の初診予約受付は電話のみ(047-372-3501)、当月の予約は前月の平日1日16時から受け付けます。(1日が土日祝日の場合は翌平日となります)
  - ※ 8 児童精神科：初診予約受付は電話のみ。受付時間は水曜日10時～12時迄受け付けています。
  - ※ 9 歯科外来：初診は予約制です。電話受付時間は平日16-17時 歯科外来にて受け付けます。
  - ※ 10 リウマチ・膠原病科：不明熱外来を水曜日・木曜日の午前中に開いております。完全予約制で受診には診療情報提供書(紹介状)が必要となります。

**\* 再診受付時間：8時00分～11時00分**